

(公財)日本サイクリング協会(JCA)

代表理事 加藤 元彦 殿

公開質問状

平成 28 年 10 月 24 日

関東甲信越サイクリング協議会

会 長 渡邊 廣次

我々は、関東甲信越 1 都 9 県のサイクリング協会と同地域の J C A 賛助会員を掌握する組織でもあります。

去る 6 月 26 日付読売新聞の紙面に公益財団の資産を不適切な運用による損失で回収不能になっているとの記事が掲載され、協会幹部による解散の可能性のコメントが示されておりました。

この事態について非常に強い関心と危機感を持って先行きを見守って参りましたが詳細な説明がなく、東京協会(9/1)、千葉県協会(9/4)からそれぞれ質問書を発送しました。

その後、9月16日に小林事務局長から全国の協会事務局に<状況報告>が送られて来ました。

この文書の送付から約一月が経つこの機会に、以下に示す項目について責任ある回答をよろしくお願いします。

1. <状況報告>によると協会の運営に一つの目処が付いたとありますが、具体的に何に対してどのような目処が付いたのか明確に説明をしていただきたい。
2. 資産を不正に運用していたコンサルティング会社から資金が戻って来て、赤字体質が改善され本来の運営ができるのか回収金額とその経緯を合わせてお示してください。
3. このような事態を招いた責任の所在についてどのように考えているのか、公益財団の存続が不可能となった場合に処理手順と代表理事・業務執行理事・各理事・監事・評議員に対する責任の所在を明確にしていきたい。
4. 第 13 回理事会において、コンサルティング会社に対して法的措置をとる決議がされたことに対するその後の対応と実行されていない理由を明確にお示してください。
5. 6 月 28 日にホームページに発表していたコメントを消去した理由をお知らせください。
6. 賛助会費の各都道府県協会への送金について、当初は 7 月末までに支払うと示されていたものを 10 月末まで延ばした理由と支払の根拠をお示してください。

7. 来年度の会員制度・募集およびJCA自転車保険について10月末までに結論を出す手順として、どのような人員・体制で検討するのかお示してください。

8. 全国、ブロック大会の今年度の実施状況について報告してください。また、来年度の補助要望についての前提条件をお示してください。

9. Cycling Japan を合併号として春号を発行することについて冬号(年内発行)とするべきと考えます。また、既に発行された夏号と合わせて今年度における経費と資金の手当てについて説明してください。

10. 賛助会員の激減やサイクリングイベントの参加者数の激減、またJKAによる補助事業の補助金停止問題の責任の所在を含めて今後の(公財)日本サイクリング協会の運営についてのビジョンをお示しいただきたい。

11. 指導者制度・更新検定について、唐突にサイクリングツアーとツアー会社を提示した理由をお教えいただきたい。また、指導者制度における位置付けをお示してください。

12. 今年度220/350名と対象者の6割以上が更新しなかった事実は、今回の検定により指導者更新制度をダメにしたことが明白だと思います。このことについての評価をお示してください。

上記の質問に対し真摯に対応し誠意あるご回答をお待ちしておりますが、その回答期限を10月31日(月)付とさせていただきますのでご了承願います。

また、本質問状は複数の都道府県サイクリング協会の各ホームページ等に掲載する公開質問形式とさせていただきますので回答いただかないと質問のみが掲載され続ける状態となり、誠意を感じられない事態となりますのでご注意ください。

なお、回答をいただいた際には速やかに回答文書の形で同様に掲載させていただきます。